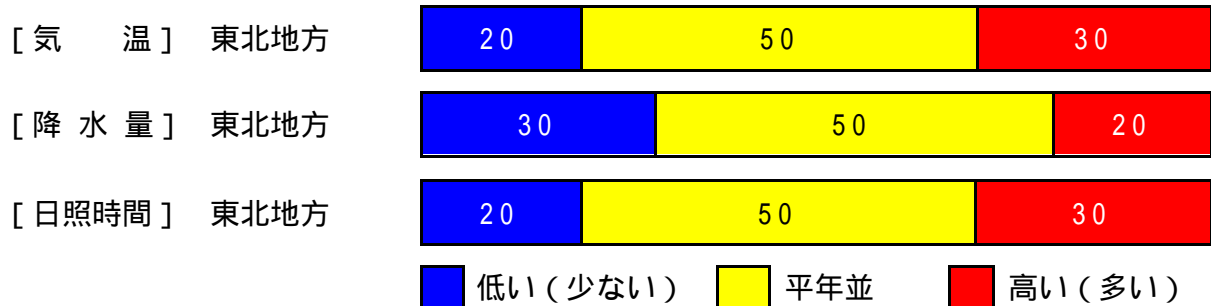


東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：9 月 22 日～10 月 21 日）

平成 13 年 9 月 21 日 仙台管区气象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



- [気 温]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。「高い」の可能性が次に大きく、その確率は 30％です。「低い」の可能性は 20％と小さい。
- [降 水 量]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。「少ない」の可能性が次に大きく、その確率は 30％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。
- [日照時間]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。「多い」の可能性が次に大きく、その確率は 30％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

天気は周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

向こう 28 日間の平年の晴れ日数：東北地方で約 14 日

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 期間の中頃気圧の谷の影響で東北北部では一時雨の降る所がありますが、その他の日は移動性高気圧に覆われ概ね晴れる見込みです。

平均気温は平年並ですが、期間の初めは平年より低く、その後は平年並か平年より高いでしょう。

平年の晴れ日数：東北地方で約 3 日

2 週目…………… 天気は周期的に変わるでしょう。

(9 月 29 日～10 月 5 日) 平均気温は平年並でしょう。

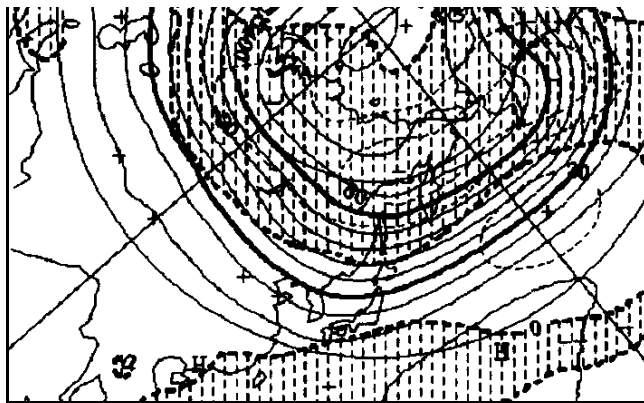
平年の晴れ日数：東北地方で約 4 日

3～4 週目…………… 天気は周期的に変わるでしょう。

(10 月 6 日～10 月 19 日) 平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数：東北地方で約 7 日

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



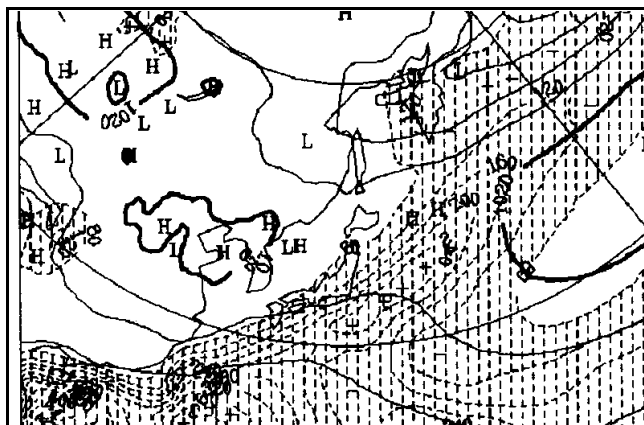
月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は東西に広く正偏差に覆われる。北海道の北の高緯度帯は負偏差が広がり、東北地方でも寒気の影響を受ける時期がある見込み。また、日本の南海上にも負偏差が広がり、台風など熱帯擾乱の影響も考えられる。

偏西風の流れは概ね東西流が卓越しており、天気は周期的に変化する。

週別（図略）では、1 週目初めに東北地方は寒気の影響を受ける見込み。2 週目以降も月平均と同様で周期変化が基調となるが、3～4 週目は東海上が負偏差となつて寒気の影響を受け易くなる。



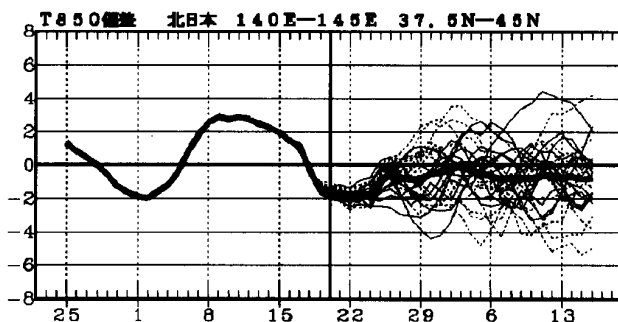
月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

・地上気圧と降水量

月平均で見ると、日本付近は日本のるか東海上にある太平洋高気圧と大陸の高気圧の間にあって帯状の高圧帯となっており、周期変化が基調と考えられる。

まとまった降水域は日本の南岸から北東にのび、秋雨前線や低気圧、台風等の影響と考えられるが、日本付近には弱い降水域がかかるのみ。

週別（図略）では、気圧配置は月平均とほぼ同じ。日本付近の降水域も月平均と同様だが、1 週目にまとまった降水域が見られるのみで、2 週目以降は弱い。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想
(縦軸：気温平年差(℃)、横軸：日付)
発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

・北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、期間中平年を下回るが、1 週目と 3～4 週目は 2 週目に比べて偏差が大きい。

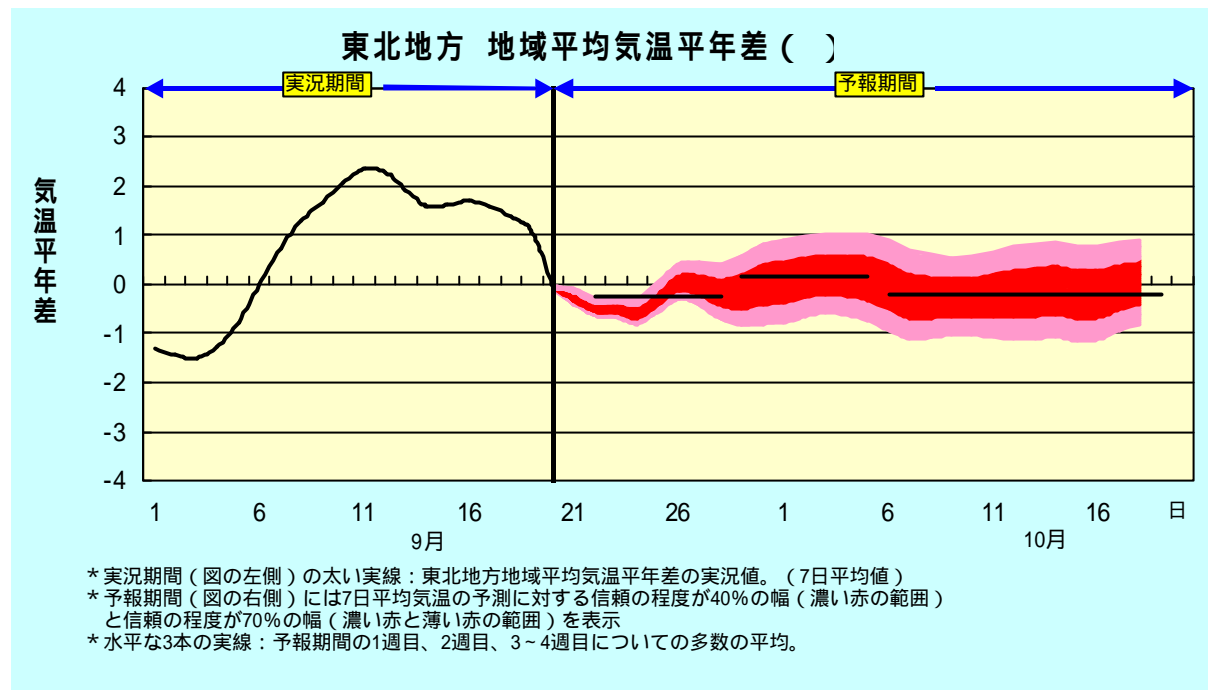
また、各アンサンブルメンバーは 1 週目の終わりから位相の違いもあってバラツキは大きい、寒暖の変動が大きい可能性も考えられる。

3．東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「平年並」を予測している。

予報は各週とも予測どおりとする。ただし、1 週目の初めは寒気の影響で気温の低い日がある見込み。

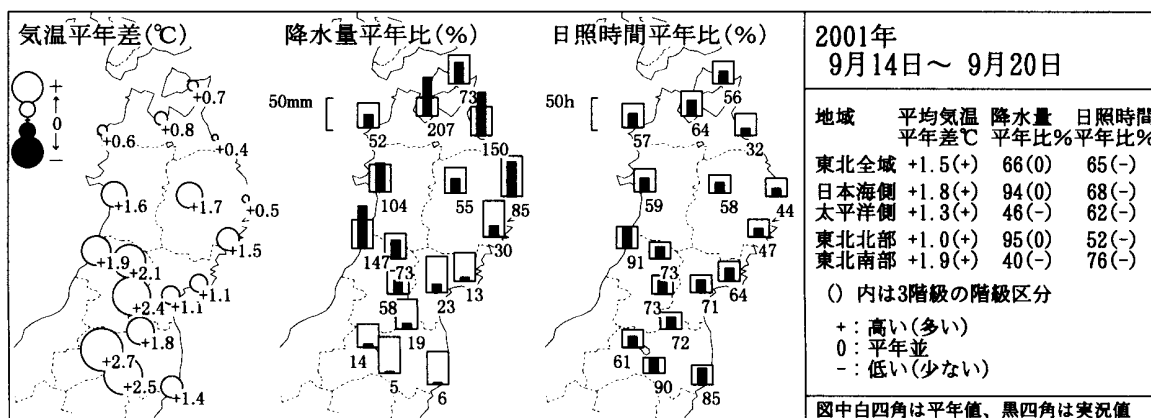
なお、予報の信頼度は小さい。



4．最近1週間（9月14日～9月20日）の天候の経過

この期間、東北地方は気圧の谷や秋雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。また、台風第17号は20日に関東地方に接近し、関東の東海上を北東に進んだ。しかし、17～18日には移動性高気圧に覆われて晴れる所が多く、18日には南から暖かい空気が流れこんで東北南部で真夏日となる所があった。

平均気温は、東北地方で平年差+1.5 と高かった。降水量は、東北北部で平年比95%と平年並だったが、東北南部で平年比40%と少なかった。日照時間は、東北地方で平年比65%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）